

平和で持続可能な社会を—沖縄から考える—**JSA第22回総合学術研究集会
in 沖縄 2018.12.7-9**

電話 03-3812-1472

Fax 03-3813-2363

The 1st Circular 2018年1月10日

22sogaku@jja.gr.jp

http://www.jja.gr.jp

日本科学者会議 22 総学実行委員会事務局 〒113-0034文京区湯島1-9-15茶州ビル9F

22 総学実行委員長から皆さまへ

第22回総合学術研究集会の沖縄開催に当たって

全国の JSA 会員ならびに『日本の科学者』の読者の皆さん、22 総学が沖縄で開催されます。メインテーマは『平和で持続可能な社会を目指して—沖縄から考える—』です。

JSA はその創設以来 50 年にわたって、人文・社会・自然科学の分野を横断して科学に携わる者と市民を結び、平和、教育、市民生活、環境、核兵器廃絶、原発廃止、最近では放射能公害などのさまざまな課題について解決策を考えてきました。

総学を沖縄の地で開催することの今日的意義は、危機的状況にある日本と朝鮮半島を含む東アジアの平和の問題を直接肌で感じながら議論できることにあります。

米軍・自衛隊戦略の新たな特徴は、辺野古・高江における米軍基地建設に加えて、奄美諸島から沖縄島、宮古島、石垣島、与那国島に至るまで自衛隊を配備し、これを米軍と一体化させることにより、琉球列島を丸ごと中国包囲網にしつつあることです。これに反対する住民への、警察、海上保安庁に加えて自衛隊、司法まで動員しての弾圧が、一層きびしくなっています。

辺野古での座り込みによる反対運動は 5000 日を超えました。毎日のようにけが人と逮捕者がでる過酷な闘いとなっており、全国的な支援が望まれるところです。

22 総学では、辺野古・高江を中心とする米軍基地撤去運動、深刻な子どもの貧困と教育の問題、自然保護問題に加え、朝鮮半島有事や東アジア全体の平和の問題と関連して日本全体の軍事基地問題が考察されることとなります。エクスカージョンは、辺野古・高江の闘争現場、普天間・嘉手納など米軍基地の視察と現地住民との交流、やんばるの森の宿泊観察などを計画しています。

沖縄での 22 総学成功は、日本科学者会議の存在意義を一層高め、沖縄県民の闘いを励ますことになると信じています。

JSA22 総学実行委員会 委員長 屋富祖 建樹

22 総学日程概要 (案) 2018.12.7-9. 琉球大学 (沖縄県西原町) 大学会館・共通教育棟

	午前	昼		午後	夕
7 金	エクスカージョン 1			14:00-17:40 開会式・全体会 I	18:30-20:50 特別講演会
8 土	9:00-12:00 分科会 I	ポスター コアタイム	13:00-15:00 全体会 II	15:15-18:15 分科会 II	18:30-20:30 懇親会
9 日	9:00-12:00 分科会 III	12:15-13:15 全体会 III	13:15-16:00 討論集会		16:00- エクスカージョン 2
10月 ~ 11 火	エクスカージョン 2				

開会式・全体会Ⅰ(7日 14:00～17:40) 基地のない沖縄、平和憲法と共に歩む日本を展望する

徳田 博人(琉球大法文学部)「辺野古新基地と地方自治」(仮題) (仮題)

演者交渉中 「島の自然を守る意味 抑止力信仰から持続可能な社会へ」(予定)

演者交渉中 核兵器禁止・被ばく者援護・東アジア情勢(2017・18年の原水爆禁止世界大会
科学者集会の講演者を中心に演者を選定します)

池内 了(名古屋大学名誉教授)「科学の軍事化の危機に(科学者として)どう対抗するか?
一進む軍産学官複合体作り一」(仮題)

特別講演会(7日 18:30～20:50) 体験者が語る沖縄戦・沖縄占領ー「オール沖縄」の原点ー(仮題)

*沖縄の自然の保護と開発についての講演を加えることも検討しています

*全体会Ⅰに参加した方は、生協食堂等で夕食をお取りになり、引き続きご参加下さい。

全体会Ⅱ(8日 13:00～15:00) および 全体会Ⅲ(9日 12:15～13:15)

*土日の日中なので、市民・学生も参加したくなるようなテーマを想定しています。

*全体会のテーマ・講演者の選定について、右のアンケートにご協力下さい。

懇親会(8日 18:30～20:30)

*参加者同士の交流を十分にはかるプログラムを検討します。各地からの差入れを期待します。

*終了後、那覇市街への移動手段が確保されるようにします。

討論集会(9日 13:15～16:00)

*「JSA や科学者運動のあり方」「大学・研究機関のあり方と財政的保障」などについて参加者
全体で論議し、もって JSA の活動活性化や組織強化をはかることを企図しています。

分科会(I: 8日 9:00～12:00, II: 8日 15:15～18:15, III: 9日 9:00～12:00,)*今回公募します。

分科会は 22 総学テーマに直接関係するものに制限されません。奮ってお申し込み下さい。

なお、申込者の提案と希望を尊重しつつ、申請状況をふまえ統合・調整を図ることがあります。

ポスターセッション(7-9日、コアタイム 8日 12:00～13:00)、展示・物販(7-9日)

*全ての支部から 1 本以上のポスター発表を求めます。支部の活動紹介、支部・分会や会員が
取り組んでいる研究・社会活動の紹介など。

*沖縄からは、中高校のプロジェクト研究、大学ゼミ等の発表機会を作れないか検討します。

エクスカージョン(1: 7日午前, 2: 9日閉会后～10 or 11日 詳細はサーキュラー 2号)

1: 前泊された方のために、7日午前中に普天間基地・嘉手納基地などの視察を行います。

2: 総学の企画終了後、1～2泊して行うツアーを企画します。右のアンケートにご協力下さい。

分科会の設置を募集します 【締切：3月末日必着】

申し込み先 22sogaku@jsa.gr.jp (メール送信に限ります) 申請に必要な事項 (1) 分科会
名、(2) コーディネータの氏名・所属・メールアドレス(添付ファイル付メールを送受信できること)(以上公表事項)、電話(非公表)、(3) 設置の趣旨(200字程度)、(4) 予定される主な
発表者・演題、(5) 希望する開催枠(上記Ⅰ～Ⅲから1～2枠を第2希望まで選ぶ)。

*上記の必要事項を全て明記した docx, rtf, txt またはそれに類する形式のファイル(書式任意、
一太郎形式は不可)を作成し、ファイル添付で送信して下さい。JSA ウェブサイト <http://www.jsa.gr.jp> の 22 総学のページから、申込書のひな型のファイルを取得できます。

*設置申込みされた分科会について、実行委員会は統合・調整をお願いすることがあります。

22 総学の開催と成功のために、皆さまのご協力をお願いします

22 総学は、沖縄支部を中心に九州沖縄地区の会員が実行委員会を組織し、全国事務局・常任幹事会と連携して運営にあたります。そのため、企画には沖縄・九州の視点が色濃く表れているのが特色です。一方で、JSA の全国の支部・委員会では、各地域に根ざした問題、あるいは全国的・世界的な問題について、極めて多様な研究・教育・普及活動が行われており、その全てを実行委員会が汲むことはできません。

従って、JSA の総力を結集した 22 総学をつくっていくためには、全国の支部・会員の皆さまが、実行委員会に意見や情報を伝えて下さったり、分科会設置や講演・ポスター発表などを積極的に申し込んで下さることが、ぜひとも必要です。具体的には下記についてご協力をお願いします。

- (1) **会員の皆さまへのお願い** 22 総学にお越しになるべく、ぜひ日程・旅費を確保して下さい。まず、分科会の設置について積極的なご提案を、また下記アンケートにご回答をお願いします。5 月にプログラムが確定しましたら、分科会、ポスター、展示等で積極的に発表をお申込みください。エクスカージョンへのご参加も、ぜひご検討下さい。
- (2) **地区・支部へのお願い** 地区・支部主催の分科会を積極的に企画して申し込んでください。また、全ての支部から 1 本以上のポスター発表を求めます。各支部の活動報告などの展示をご準備下さい。あらゆる支部活動の場で、会員の総学への発表申込み・参加促進、参加者（特に若手・学生）への物心の支援、22 総学に呼応したプレ企画開催などを、推進して下さい。
- (3) **全国委員会（研究委員会、問題別委員会）へのお願い** 分科会の開催申込み・メンバーの参加促進について早めにご準備ください。複数の委員会による合同開催も期待されています。

アンケートにご協力を【第一次締切：1 月末日、最終締切：2 月末日】

返信先 22sogaku@jsa.gr.jp (Fax も可：098-895-8794)

*自由な書式で記入し、送信して下さい。JSA ウェブサイト <http://www.jsa.gr.jp> の 22 総学のページから、回答用紙のファイルを取得できます。頂いた回答は随時実行委員会の運営の参考にいたします。反映する機会が確保されるよう、できるだけ早く回答をお寄せ下さい。

1. **あなたが 22 総学の全体会・分科会でとくに重視して参加したいと思うテーマは何ですか。**
3 つまで選んで下さい。また、そのテーマで全体会で聴きたい講演者があれば書いてください。
[1] 子どもの貧困・格差社会の問題 [2] 主権者教育 / 民主的シチズンシップ教育
[3] 憲法「改正」問題 [4] 地域の平和問題（東アジア情勢、中国・北朝鮮脅威論）
[5] 基地・軍事と地域社会・経済 [6] メディア、フェイクニュース、情報の独占と操作
[7] 科学・技術と倫理、科学者の社会的責任、学問の自由、大学自治 [8] 歴史の修正、戦争責任
[9] 原発廃止、核の「平和利用」、核抑止力論、核兵器禁止、東アジアの非核化、ヒバクシャ問題
[10] 災害復興、減災・防災 [11] 気候変動、エネルギー問題、人新世 [12] 農業問題、自由貿易協定
[13] 労働のルール、ブラック企業、非正規・雇い止め その他（自由にテーマをお書き下さい）
2. **22 総学終了後のエクスカージョンとしてあなたの興味を引くツアーを選んでください。**
2 泊 3 日：(a)「辺野古（ゴボウ抜かれ体験可能）・高江」、(b)「やんばるの夜の生物観察」、(c)「石垣・西表のマングローブ・自然」、(d)「伊江島などの戦跡・戦後運動跡地」。1 泊 2 日：(e)「北部基地・辺野古視察」、(f)「美ら海水族館」。その他（ご希望の場所・泊数を自由にお書きください）
3. **沖縄で開催される 22 総学に、あなたが期待することを自由にお書きください。**

*回答にはご氏名・所属支部をお書きください。上記テーマやツアー案の開催を約束するものではありません。
第22回総合学術研究集会 in 那覇 第1サーキュラー - 3 - 2018.1.10. 日本科学者会議

参加費 (予価) 第2サーキュラー (5月発行予定) にて参加・発表受付をご案内致します

参加費	一般会員	院生会員	特別会員	市民 (通し)	市民 (1日)	学生・生徒
事前	4000	1000	2000	未定	未定	-
当日	4500	1000	2000	1000	500	無料
予稿集	上記に込み	上記に込み	上記に込み	1000	1000	1000
懇親会費	一般会員	院生会員	特別会員	市民		学生・生徒
事前	4500	1000	2500	4500		1000
当日	5000	1000	3000	5000		1000

*会員向けの1日券は発行しません。院生会員・学生・生徒は予稿集代だけで参加できる計算です。

あし 那覇空港ターミナルにはモノレール駅が直結しており、高速バスを含む一部の路線バスも発着します。LCCターミナルは国内線ターミナルから専用バスで移動します。

■ゆいレール (モノレール) 那覇空港駅ー首里駅、片道27分330円です。OKICA以外の交通系カードは使えません。

■路線バス 琉球大学には**高速バス** 111/152番、**路線バス市外線** 94 (平日のみ) /97/98番が運行しています。会場にバス停が近いのは94,97番、乗車時間が短いのは98番と高速バスです。バス時刻表、路線図は「ちゅらバス@なび」でお調べ下さい。<http://www.tyura-bus.sakura.ne.jp/bus/index.html>

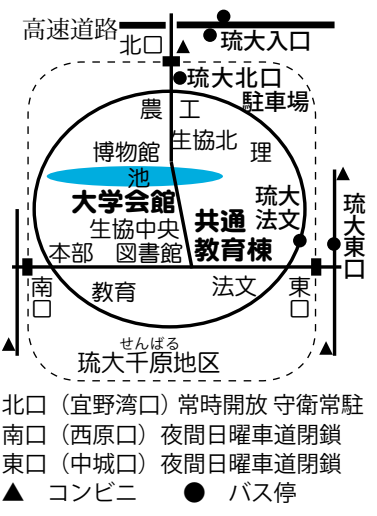
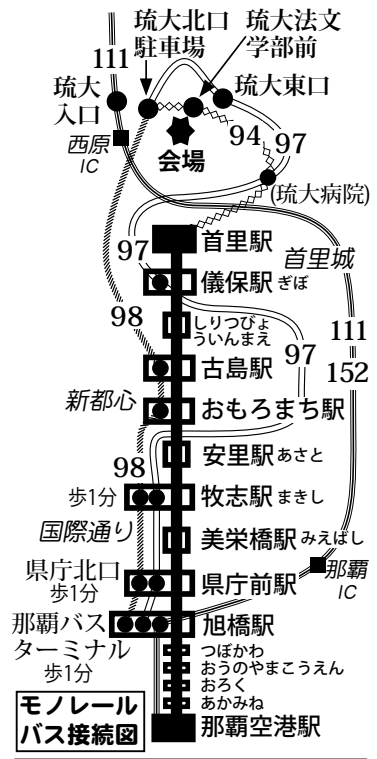
★空港→111/152番高速バス琉大入口下車・徒歩8分(740円)

★旭橋駅→98番琉大北口駐車場下車徒歩5分 / 97番琉大東口下車徒歩4分。97,98番の他の乗換駅は右図参照。

★首里駅→94番琉大法学部前下車 徒歩1分 (土日運休 370円・25分)・タクシー (15分・構内周回道路「理学部前」または「中城口 (東口)」信号で下車・2千円)

■タクシーなど 3~4名で乗車すると割安ですので、乗り合い利用もご検討下さい。日曜日は北口から入構して下さい。琉球大学には自家用車・レンタカー等で自由に入構できます。駐車場の利用も自由で無料ですが、平日日中は混雑します。

やど 公共交通路線図を参考に那覇市内のホテル (おもろまち~旭橋沿線に多くあります) をお選び下さい。混雑しますので、参加ご検討の方は早期にまず宿を予約して下さい。



日本科学者会議第22回総合学術研究集会実行委員会

委員長：屋富祖 建樹 (前琉球大学)

副委員長：松田 正久 (JSA 研究企画部長)

事務局長：亀山 統一 (琉球大学・開催校責任者)

実行委員：半田駿 (佐賀)、木下統 (宮崎)、小早川義尚 (福岡)、前田定孝 (三重)、三好永作 (福岡)、中野豊 (福岡)、田島康弘 (鹿児島)、吉田省三 (長崎)

現地実行委員:天久和正、加藤祐三、三村和則、名嶋義直、大倉信彦、泉水奏、田港朝昭、照屋匡、矢ヶ崎克馬、山内榮 (1月7日現在, ABC 順)